

緑内障の診断・治療のために受診中あるいは受診経験のある
患者さんまたはご家族の方へ
（臨床研究に対するご協力のお願い）

獨協医科大学埼玉医療センター眼科では、上記の病気で受診された方の診療情報（カルテ情報）を使用して臨床研究を実施いたしております。本研究に該当する可能性のある方のご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また、ご協力いただけない場合であっても今後の治療に不利益を受けることはございません。

【研究課題名】

Ahmed 緑内障バルブインプラント挿入術の短期成績

【研究の背景と目的】

Ahmed 緑内障バルブを用いたインプラント手術は血管新生緑内障などの難治性緑内障に対して行われます。眼圧が下がりにくい難治性緑内障に対しインプラント手術を行うことで、眼圧を下げるのが期待できます。当院では2018年から Ahmed 緑内障バルブを使用しており、術後のどれだけ眼圧が下がったか、またどのような合併症が生じたか確認必要があります。今回の研究は2018年から当院で Ahmed 緑内障バルブを用いた手術を行い、術後1年間以上の経過が追える患者さんのカルテを調査し、Ahmed 緑内障バルブを使用する臨床意義を検討し、今後の Ahmed 緑内障バルブを用いたインプラント手術の成績向上に繋がりたいと考えています。

【対象となる方】

2018年3月から2021年3月の間に、Ahmed 緑内障バルブを用いたインプラント手術を行った方

【使用する診療情報】

使用する診療情報は手術から1年後までの以下の項目です。なお、収集したデータは、研究責任者のもと適切に保管・管理します。

診断名、年齢、性別、生年月、検査結果（眼圧）、眼圧を下げるために使用した点眼や内服薬の数、術後に起きた合併症、術後に起きた合併症に対する治療

【研究期間と参加予定人数】

この研究は2022年3月31日まで実施され、29名の患者さんにご協力いただきます。

【個人情報の保護】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを特定出来る個人情報は削除し、収集されたデータは個人が特定できないよう通し番号などで匿名化されたのち解析を行います。また、使用した検体やカルテ情報を廃棄する際も個人情報を削除して廃棄いたします。

【結果の公表】

この研究の研究成果は日本臨床眼科学会で発表予定ですが、その際も患者さんを特定できる個人情報は発表いたしません。

【研究責任者】

獨協医科大学埼玉医療センター 眼科 町田 繁樹（教授）

【問い合わせ先】

埼玉県越谷市南越谷2-1-50

獨協医科大学埼玉医療センター 眼科 担当者：沼尾 舞（レジデント）

電話番号：048-965-8659（医局直通）

受付時間帯：平日午前9時～午後5時

以上